

厚生労働省科学研究委託費（革新的がん医療実用化研究事業）
委託業務成果報告（業務項目）
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する新規治療を開発する
医師主導臨床試験に関する研究

担当責任者 森内幸美、佐世保市立総合病院 管理診療部長

研究要旨：成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL）に対する新規治療の開発

A. 研究目的

難治性疾患である成人 T 細胞白血病・リンパ腫の予後の改善を目指し、治療法の改善に取り組んだ。

B. 研究方法

化学療法としては、新規薬剤であるモガムリズマブを再発・難治性症例に使用した。

（倫理面への配慮）

保険医療として認められている治療を施行した。

C. 研究結果

モガムリズマブに関しては、当科の9症例を含む25症例に対する使用経験を当科医師である谷口広明が日本内科学会総会で報告した。再発・難治性 ATL に対するモガムリズマブ使用の解析では、観察期間の中央値が6.5ヶ月の時点で過半数の症例が生存中であり、既報（臨床血液2013；54；2159-）と比べ改善していた。

D. 考察

モガムリズマブはATLに対し有効な薬剤であり、従来の化学療法と併用して用いることへの期待が持たれる。

E. 結論

未治療ATL症例に対し、モガムリズマブと化学療法との併用療法は期待のできる治療法である。

G. 研究発表

1. 論文発表

Kato K,Choi I,Wake A,Uike N, Taniguchi S,Moriuchi Y,Miyazaki Y, Nakamae H,Oku E,Murata M,Eto T, Akashi K,Sakamaki H,Kato K,Suzuki R, Yamanaka T,Utsunomiya A. Treatment of Patients with Adult T Cell Leukemia/Lymphoma with Cord Blood Transplantation:A Japanese Nationwide Retrospective Survey. Biol Blood Marrow Transplant.2014 Aug 27.pil:S1083-8791(14)00511-4

Fukushima T,Nomura S,Shimoyama M,Shibata T,Imaizumi Y,Moriuchi Y, Tomoyose T,Uozumi K,Kobayashi Y, Fukushima N,Utsunomiya A,Tara M, Nosaka K,Hidaka M,Uike N,Yoshida S, Tamura K,Ishitsuka K,Kurosawa M, Nakata M,Fukuda H,Hotta T,Tobinai K, Tsukadasaki K. Japana Clinical Oncology Group (JCOG) prognostic index and characterization of long-term survivors of aggressive adult T-cell leuaemia-lymphoma (JCOG0902A).Br J Haematolol.2014; 166:739-48・

2. 学会発表

糸永英弘、田口潤、谷口広明、牧山純也、澤山靖、今泉芳孝、吉田真一郎、福島卓也、森内幸美、宮崎泰司
成人T細胞白血病・リンパ腫症例における同種造血幹細胞移植後再発時の浸潤臓器の後方視的検討、第36回日本造血細胞移

植学会総会 2014

谷口広明、今泉芳孝、北之園英明、加藤
丈晴、田口正剛、蓬萊真喜子、牧山純也、
佐藤信也、安東恒史、澤山靖、今西大介、
田口潤、長谷川寛雄、波多智子、吉田真
一郎、森内幸美、宮崎泰司、再発・難治
性成人T細胞白血病リンパ腫に対するモ
ガムリズムブの治療成績に関する臨床的
検討、第111回日本内科学会総会 2014

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし